



# 赤い羽根 福祉基金

地域における生活課題は多岐にわたる。課題が複合化・深刻化することも多く、既存の公的制度や施策ではなかなか対応できないことも多い。

これらの「**制度のはざま**」にある**問題**の解決のため、多くの非営利の活動が行われている。





「**赤い羽根福祉基金**」は、子どもや家庭、障がい児・者、高齢者など幅広い福祉分野を対象に活動資金の支援を行っている。

---

## ■ 2016～2022年度

69の非営利団体  
延べ147の活動を支援  
助成総額 9億2188万円

# 共同募金会の助成プログラム

	都道府県共同募金会	中央共同募金会		
プログラム名	 <b>赤い羽根 共同募金</b>	 <b>赤い羽根 福祉基金</b>	 <b>ボラサポ</b>	<b>ポスト・コロナ キャンペーン</b> 
助成規模	毎年およそ5万件 総額143億円	【2022年度】22事業 総額1億3,599万円	【2021年度】64事業 総額5,511万円	【3か年*】4,489事業 総額15億 989万円
助成単価	平均20万円ほど	上限1000万円	上限300万円・50万円	上限300万円
助成対象	社会福祉法人、NPO、 ボランティア団体  高齢者サロン、 こども食堂など 草の根のボランティ ア活動 福祉施設の改修	公的制度やサービスで は対応できない <b>福祉課 題の解決に向けて、先 駆的、モデル的で、今 後全国または広域的な 広がりが期待できる事 業・活動</b>	災害時に <b>被災地で支 援活動を展開するボ ランティア団体・ NPOの活動費用</b>  災害に備えた資機材 ネットワーク構築の ための費用	① <b>居場所を失った人</b> ② <b>フードバンク活動</b> ③ <b>外国にルーツがある 人々</b> ④ <b>重症児等（医療的ケ ア児）とその家族</b> ⑤ <b>地域の孤立防止活動</b>

\*3か年・・・2020年3月～2022年10月

これらの他に、児童養護施設の退所者の就職応援や資格取得支援プログラムなども実施

# 福祉基金のしくみ



赤い羽根  
福祉基金

「赤い羽根福祉基金」は、制度の対象外でありながら求められるニーズへの対応、新たな社会資源の創出、ニーズに即し分野を超えた対応、全国的・広域的な広がり期待される事業、複数の団体・関係機関との連携・協働事業や活動などへの助成を通じて、社会課題の実態を明らかにするとともに、これらの事業や活動に賛同・共感いただく企業・団体や個人の皆さまからの寄付により運営を行います。



## 事業・活動

I) 支援事業・活動への助成	対象期間 単年度から最大 <b>3</b> 年	同一事業の実施期間は単年度から最大3か年まで
II) 活動の基盤づくり、ネットワークづくりへの助成	助成額 年間 <b>1,000</b> 万円を上限	各事業・活動に対して年間上限額1,000万円を助成
III) 調査・研究事業への助成	対象経費 事業に要する経費を対象	事業にかかる人件費等の管理経費を含めることが可能
	助成方法 中央共同募金会から直接助成	年に1回公募により助成

※2022年度に新設した重点助成「生きづらさを抱える若者の未来創出活動応援助成」の年間上限額は500万円。

# 助成プログラム



赤い羽根  
福祉基金

## 重点助成

- 「生きづらさを抱える若者の未来創出活動応援助成」
- 10代後半からおおむね30歳までの生きづらさを抱えた若者が前向きに生きていけるよう支援することを目的とした活動の支援
- 2022年度から新設
- 年最大500万円 × 最大3か年度

## 一般助成

- 生活上の困難に直面する人々、権利を侵害されている人々、何らかの生きづらさを抱えている人々を支援することを目的とした活動の支援
- 子ども家庭、障がい児・者、高齢者などを対象とした支援活動、基盤・ネットワークづくりなど
- 年最大1000万円 × 最大3か年度







# 2022年度 助成決定一覧

2022年度 20団体 助成決定額 合計1億2599万円

赤い羽根  
福祉基金

	都道府県	団体名	助成事業名	助成額 (万円)	
一般助成	3年目	東京都	特定非営利活動法人 ぱっぷす	<b>デジタル性暴力・性的搾取</b> にまつわる相談支援事業	1,000
		東京都	特定非営利活動法人 ピッコラーレ	<b>居場所のない若年妊婦</b> のためのワンストップ型支援事業	424
		神奈川県	認定特定非営利活動法人 エンパワメントかながわ	DVや虐待の連鎖を断ち切るための <b>デートDV</b> 相談体制構築事業	887
		東京都	特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ	<b>ひとり親家庭</b> が確かな情報を得て孤立を防止するための相談応援ナビ作成とひとり親交流事業のネットワーク全国展開事業	714
	2年目	茨城県	認定特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ	家なき人と共に暮らし未来を耕すための <b>多文化共同住宅と農園</b> の開設	400
		東京都	特定非営利活動法人 あなたのいばしょ	問題を抱えた時に確実に信頼できる人につながる <b>チャット相談</b> 事業	410
		東京都	特定非営利活動法人 サンカクシャ	孤立リスクの高い若者を対象とした <b>就労支援付きシェアハウス</b> 事業	900
		東京都	特定非営利活動法人 東京ソテリア	<b>精神疾患をもつ親</b> とその子どもの家族まるごと支援事業	733
		滋賀県	社会福祉法人 滋賀県母子福祉のぞみ会	孤立する母と子を包摂するための多機能型シェアハウスを拠点とした包括的支援活動	800
		滋賀県	認定特定非営利活動法人 つどい	<b>働きづらさを抱えた人</b> のための居場所を地域みんなで創り出す事業	787
		東京都	認定特定非営利活動法人 シェア=国際保健協力市民の会	<b>外国人母子</b> の健康を守る切れ目ない支援体制構築事業	900
	新規 (1年目)	宮城県	特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター	「属性を問わない緊急一時支援」の全国波及のための調査研究及び実践ガイドの作成、セミナー開催、ネットワーク構築事業	1,000
		東京都	一般社団法人 全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会	<b>若年性認知症</b> の介護家族会の立ち上げ支援とネットワーク作り活動事業	401
神奈川県		特定非営利活動法人 つなぐ	知的障害・精神障害の方のための <b>意思決定支援ツール</b> の開発	210	
神奈川県		特定非営利活動法人 子ども支援センターつなぐ	<b>子どもの性被害</b> への対応に関する実態調査	384	
岡山県		社会福祉法人 美作市社会福祉協議会	<b>生きづらさを抱える高齢者、障害者、ひきこもり</b> 等の商福連携による移動販売事業	662	
重点助成 (※)	新規 (1年目)	北海道	特定非営利活動法人 コミュニティワーク研究実践センター	孤立している若者、困難を抱えている若者に対し一人暮らし体験の場を提供すると共に、その実践を通して、一人暮らしに必要な能力と若者特有の難しさを明らかにするための活動	500
		東京都	一般社団法人 ヤングケアラー協会	<b>ヤングケアラー</b> が自分らしく生きられる社会を創る活動	500
		愛知県	全国再非行防止ネットワーク協議会	住まいがない <b>罪を犯した青少年</b> のための居住支援ネットワーク拡充連携事業	500
		愛知県	特定非営利活動法人 リネーブル・若者セーフティネット	ニート・早期離職を繰り返す若者、非正規労働の若者が働く一歩を踏み出すための、 <b>ITに特化した学び直し</b> と、企業と協働した実践の場づくりの活動	487

重点助成 (※) 「生きづらさを抱える若者の未来創出活動応援助成」



赤い羽根  
福祉基金

# 福祉基金で応援した活動

## 林業を通じた持続可能な生きがい就労創生事業 社会福祉法人 釜石市社会福祉協議会（岩手県）

助成額 計1884万円（2019年度380万円、2020年度504万円、2021年度1000万円）

### 地域での循環を生み出すことで持続可能な社会をめざす

岩手県沿岸南部に位置する釜石市では、東日本大震災以前より、人口流出による高齢化が急激に進み、地域住民は孤立や生計困難等の不安を抱えていました。そこで、釜石市社協は**市の面積の約9割を占める森林を活かして薪づくりによる就労支援活動**を開始し、居場所・生きがい・生計の維持といった福祉課題の解決を目指しました。

薪づくりの活動には、36歳から84歳までの36名が参加しており、**平均年齢は72.4歳**です。それぞれがここで働く理由は**生活困窮、障がい、引きこもり**防止等さまざまですが、中には**滞納金の解消や生活保護の受給廃止といった変化があった方も**います。

「ここにすれば笑いながら仕事ができる」「病気からのリハビリとして、健康維持にもつながっている」「賃金を得られるようになったことで楽しみが増えた」などの声があり、参加者にとって生きがいの場所となっています。

また、この活動は、**居場所や生きがい、雇用の創出**だけでなく、薪の原料を仕入れるための森林組合や製材所、加工した薪を売るための流通業者や販売店など、これまでになかった**他業種との循環**も生み出しました。地域の多様な主体がそれぞれの強みを生かし、弱みを補い合う循環が作られたことで、助成終了後も継続的な就労の場を提供することができます。



作業内容は薪割や梱包など様々です。



キャンプやアウトドア用の薪としても販売されています。



赤い羽根  
福祉基金

## ☆単年度ではなく、複数年度助成

課題解決にじっくり計画的に取り組む活動を応援したい！

## ☆活動に係る運営経費（人件費含む \*要件あり）も対象

課題解決に専門性をもって取り組んでいただきたい！

## ☆団体同士の交流会や担当職員によるヒアリングを実施

活動にあたり悩んでいることなど、団体同士や本会職員を通じて話し合える場や環境をつくりたい！

### 【求める要素】

- ①公的制度やサービスでは対応できない福祉課題の解決を目的とするもの
- ②先駆的で全国的なモデルとなるもので、全国または広域的な広がりが期待できるもの
- ③社会や当事者のニーズに立ち、社会的に認知や理解が進んでいないテーマを対象としたもの
- ④従来にはない発想や視点、手法を用い、新たな社会資源を創り出すもの
- ⑤様々な団体・機関等と連携・協働して行うもの

### 【審査基準】

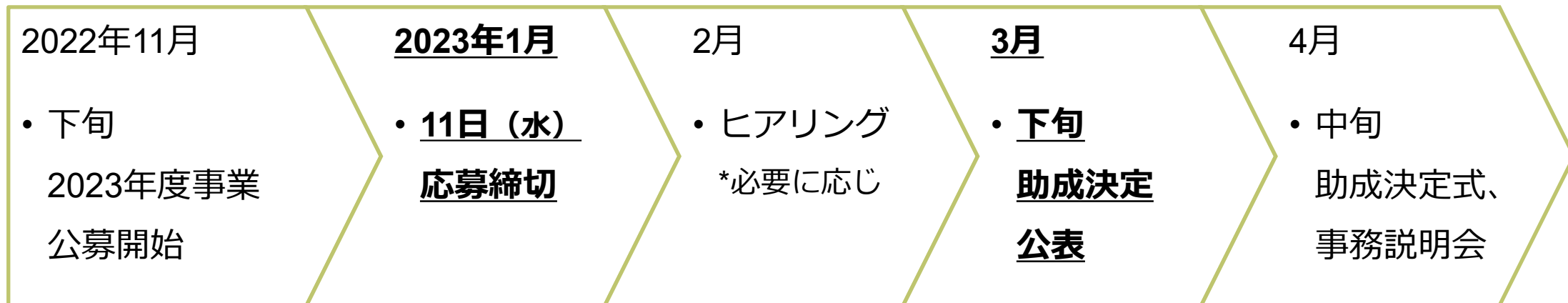
- ①事業・活動の目的および内容が、本助成が対象としているものに合致しているか
- ②計画や実行体制などが事業・活動の目的達成に向けて適切か
- ③費用が適切に積算されているか
- ④事業・活動の進捗状況や成果を、広く社会に発信する体制が整えられているか
- ⑤事業・活動の成果が、新たな価値の創造や公的制度の提案などにつながるものか
- ⑥応募団体のこれまでの事業・活動実績が、助成実施にあたって適切か
- ⑦助成終了後の事業継続に向けた計画が適切か

# スケジュール



赤い羽根  
福祉基金

一般助成 及び 重点助成「生きづらさを抱える若者の未来創出活動応援助成」



「赤い羽根福祉基金」  
2023年度 新規助成事業 公募説明会（オンライン）

12月8日（木） 15:00～16:00

12月15日（木） 11:00～12:00

※2回とも同じ内容です。

※事前申し込みが必要です。詳しくは中央共同募金会ホームページをご確認ください。

ご応募、  
お待ちしております！

**応募締切 2023年1月11日（水）**